



http://www.pref.nara.jp/27678.htm

## 注目の奈良の木

温かく、心が和み、気持ちのいい空間。健康や環境にもやさしいすぐれものの素材「木」。なかでも「奈良の木」は、住宅・木材市場において、その品質の高さに注目が集まっている。

奈良県の代表的な木といえば杉と桧。その特徴は、年輪幅が狭く均一で見た目に美しい。そして、強度に優れている。丁寧に間伐を繰り返し、長い年月をかけて育林する吉野林業は、全国的に名高い優良材を産出し、発展してきた。優れた木材が豊富な奈良県は、建築用材の供給地として高い評価を受けてきた。

「奈良の木」を使うことは「植える、育てる、収穫する」という森林のサイクルをうまく循環させる。その結果林業や木材産業の生産活動が活発になり、県民の暮らしを支える森林の多様な機能が十分に発揮される。「奈良の木」を日常に取り入れること。それは、奈良の森林を活性化させ、まさに「木の地産地消」を進める手だてになる。

## 木の地産地消を目指して

「奈良の木」を広く人の目に触れるところに利用してもらい、その良さをPRしようと、奈良県は2013年「奈良の木」を利用した粋なお店、宿のデザインコンペを初めて実施した。バーやカフェ、美容院や旅館など県内をはじめ京阪神地域から17作品がエントリー。最終審査を経て6作品が受賞作品に選ばれた。いずれも奈良の木の魅力を存分に引き出した意欲作をご紹介します。

審査員



審査委員は、左から委員長の服部滋樹さん(デザイナー、graf代表、京都造形芸術大学教授)をはじめ、田中理恵子さん(hitofushi店主)、山本奈緒美さん(ならびんぐ編集室室長)、福谷健夫さん(奈良県農林部長)の4名。

## 奈良の木のお店・宿デザインコンペ



審査風景

### 受賞作品

#### P.03

準グランプリ  
自家焙煎珈琲 豆増

#### P.04

準グランプリ  
森が香る銀行ロビー

#### P.05

優秀賞  
胴縁の店

#### 優秀賞

奈良県認証木材を使った飲食店

#### P.06

優秀賞  
古き美を愛おしむ暮らし

#### 優秀賞

木の展示館 吉野サロン

#### P.07

注目のアイデア

準グランプリ

## 自家焙煎珈琲 豆増

cafe / Takatsuki-city Osaka



2階の喫茶スペース。梁を見上げて「すごいね」と驚くお客も多いという。

### Cafe space



Smile

The exterior

## 吉野杉の梁を大胆に！ 心地よい木の空間設計

2010年4月にオープンしたコーヒーショップ。外装に節の少ない吉野杉板を配し、閑静な住宅地でもひとときわ目をひく外観。2階・喫茶スペースの内装には、吉野杉の特徴である赤みを生かした長い梁がダイナミックにデザインされている。天井には外装と同じく節のない吉野杉、また床板にはチーク、カウンターにはタモなど他地域の木材もバランスよく使用し、心地よい空間設計がなされている。開放的で親しみあるスペースがお客にも好評。



Owner

【使用材種】 スギ  
【設計者】 有限会社 エムス建築設計事務所  
【施工者】 有限会社 羽根建築工房  
【納材者】 山切材木店、株式会社ウッドベース  
【木材使用箇所】 外壁、構造材、屋根垂木、造作材  
【店舗】 自家焙煎珈琲 豆増  
大阪府高槻市松が丘2-4-28 / ☎072-628-2748

「木の空間にしてほしい」と木を多用する設計者に依頼。落ち着いてゆっくり珈琲を楽しむ、最適な空間が実現。